

新しい図書館と健康センターの複合施設に関する基本設計書（案）

計画説明書

令和5年12月

長与町役場

－事業整備計画背景－

現在の図書館は、1958年に建設された旧役場庁舎を増改築した建築物で、旧役場の移転に伴い1989年に「長与町図書館」として開館しました。建築から65年を経た現在、施設の老朽化をはじめとする様々な課題を抱えています。

健康センターについては、1965年に建築された県立長崎専修職業訓練校（現県立長崎高等技術専門学校）跡地を長与町が購入・改修して、2004年に3・4階部分を「長与町健康センター」として開館しました。建築から58年を経過し、図書館同様老朽化や狭隘化等の課題があります。

この2施設の建て替えにあたっては、複合化することにより、図書館・健康センターの各機能に加えて、相互利用による相乗効果、整備費用の効率化といったメリットが考えられるため、複合施設として整備することとなりました。

この複合施設は、「長与町第10次総合計画」まちの将来像【人・緑・未来つなぎ はぐくむ ながよ ～幸福度日本一のまちをつくる～】を具現化するための「子育て」「教育」「健康づくり」の一翼を担う施設となり、「住みたい、住み続けたい、住んで良かったと思われる「幸福度日本一のまち」のランドマークとなることを目指します。

－コンセプト－

まちをつなぎ、出会いを生む、大らかな交差点

町を一望できる場所に、敷地形状に沿って配置された本施設は、裏のないシンプルな構成です。室内から緑豊かな外構、そしてまちへと滑らかにつながることでこの施設一帯が「まちの交差点」となり、さまざまな方向から人々が訪れる、大らかで寛容な日常の居場所となります。本や情報、人が出会い、つながり、学びあう長与の小さな物語がここからたくさん生まれていきます。

－つなげる施設－

人と本、人と情報、人と人が結びつき、交流することにより地域の魅力が創出される空間を計画します。

より広く異なる世代の関わりが生まれるように、また運営側の横の連携が図れるように、諸室の重ね使いができる配置を計画します。

－日常の居場所となる施設－

滞在を促すモノ、スペースを施設全体に配置することで、その日その時の自分の居場所を自ら選び利用できる空間を計画します。

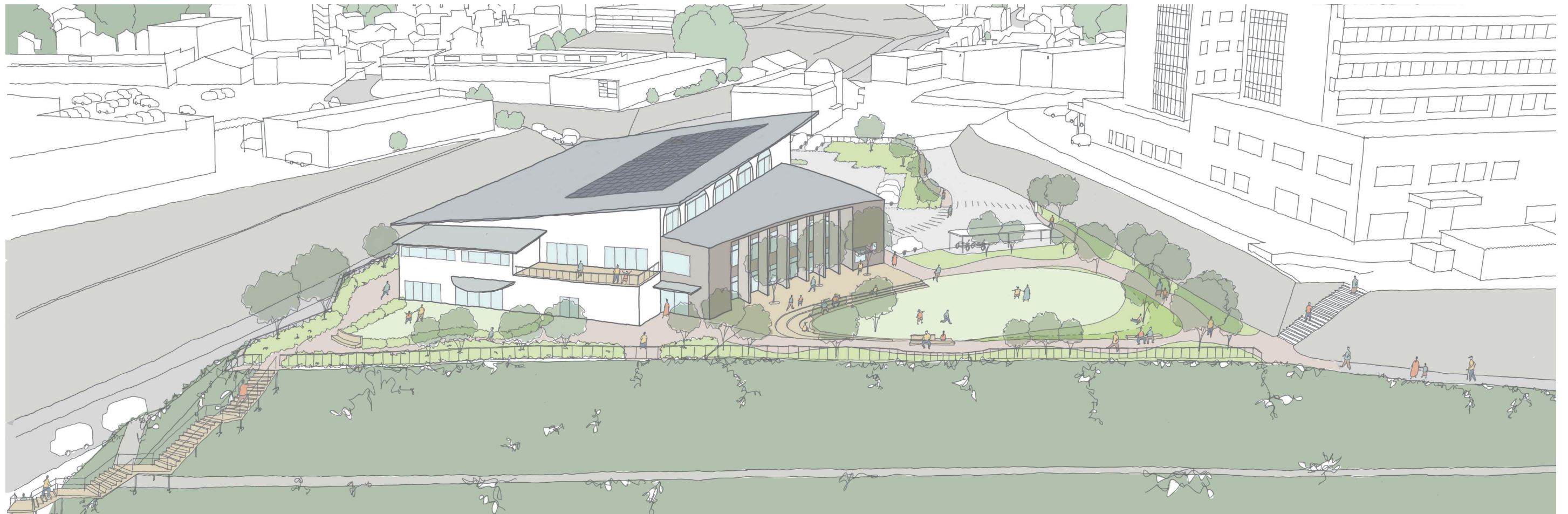
こどもたちが安全に遊べる、町民が健康づくりのできる、誰もが安心して利用できる施設を計画します。

－環境に配慮する施設－

国における公共施設の木材利用の促進や、長与町「ゼロカーボンシティ」宣言における、「2025年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロ」の実現を目指す取り組みとして耐火木造を採用します。

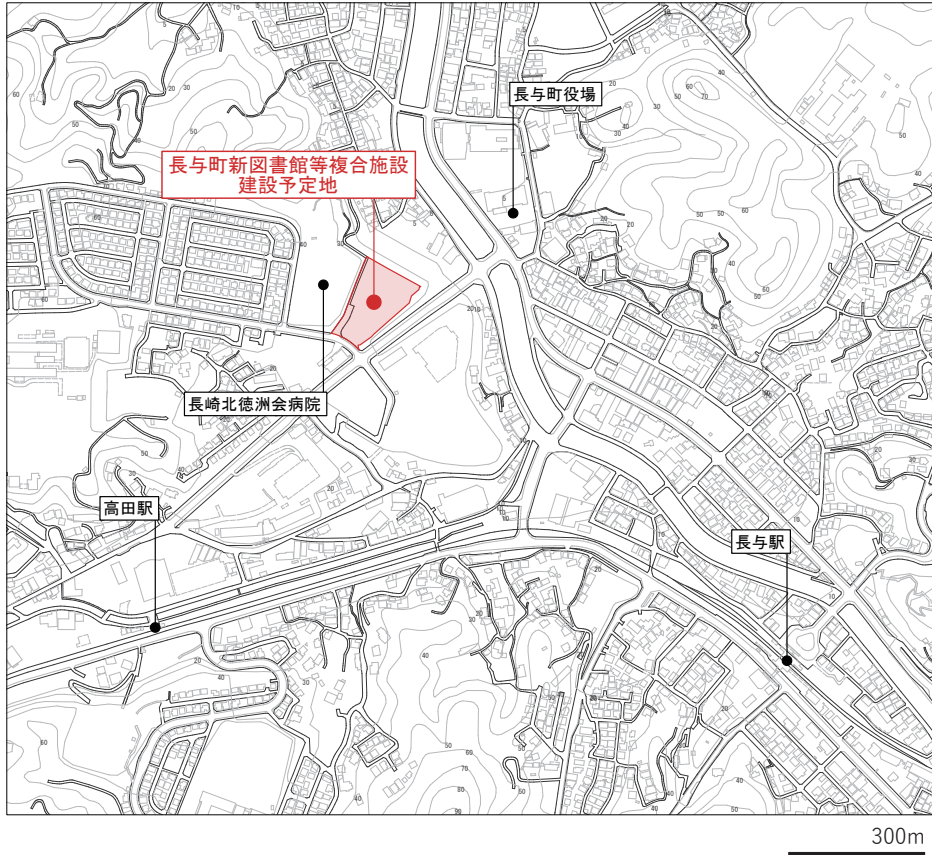
未来の経済負担軽減のため、エネルギー消費量の削減、創エネによる「Perfect ZEB*1」を目標とします。

*1 私たちの目指す「Perfect ZEB」の定義 断熱性能を高め環境負荷を少なくし、エネルギー消費量を70%削減。また、残りの使用分に対して創エネルギーを行う。実質的な意味でのネットゼロエネルギービル。

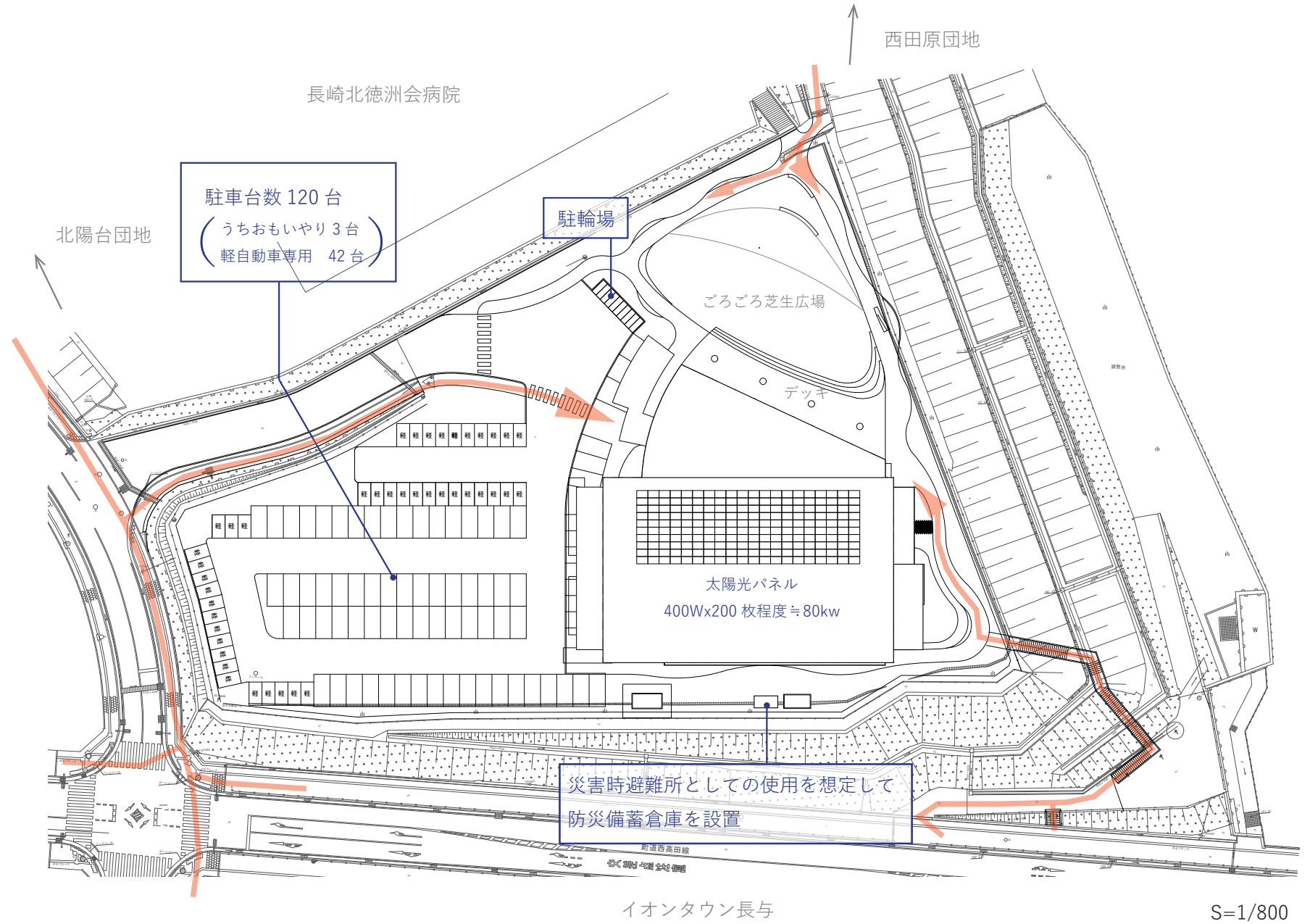


配置計画

敷地案内図



名称	長与町新図書館等複合施設設計	
機能	図書館・健康センター・交流施設	
敷地概要	建築主	長与町長 吉田 慎一
	所在地	〒851-2131 長崎県西彼杵郡長与町北陽台1丁目 4番1、4番2、4番3、4番4
敷地面積	10,395.70㎡	
区域区分	都市計画区域	市街化区域
用途地域	第一種住居地域	
地区	地区計画区域	
容積率	60%	
建ぺい率	200%	
防火指定	防火指定なし 建築基準法第22条地域	
建築概要	工事種別	新築
	主要構造部	耐火木造
	階数	2
	建築面積	1862.33㎡
	延床面積	2975.80㎡
	特殊建築物	○
	耐火建築物	○



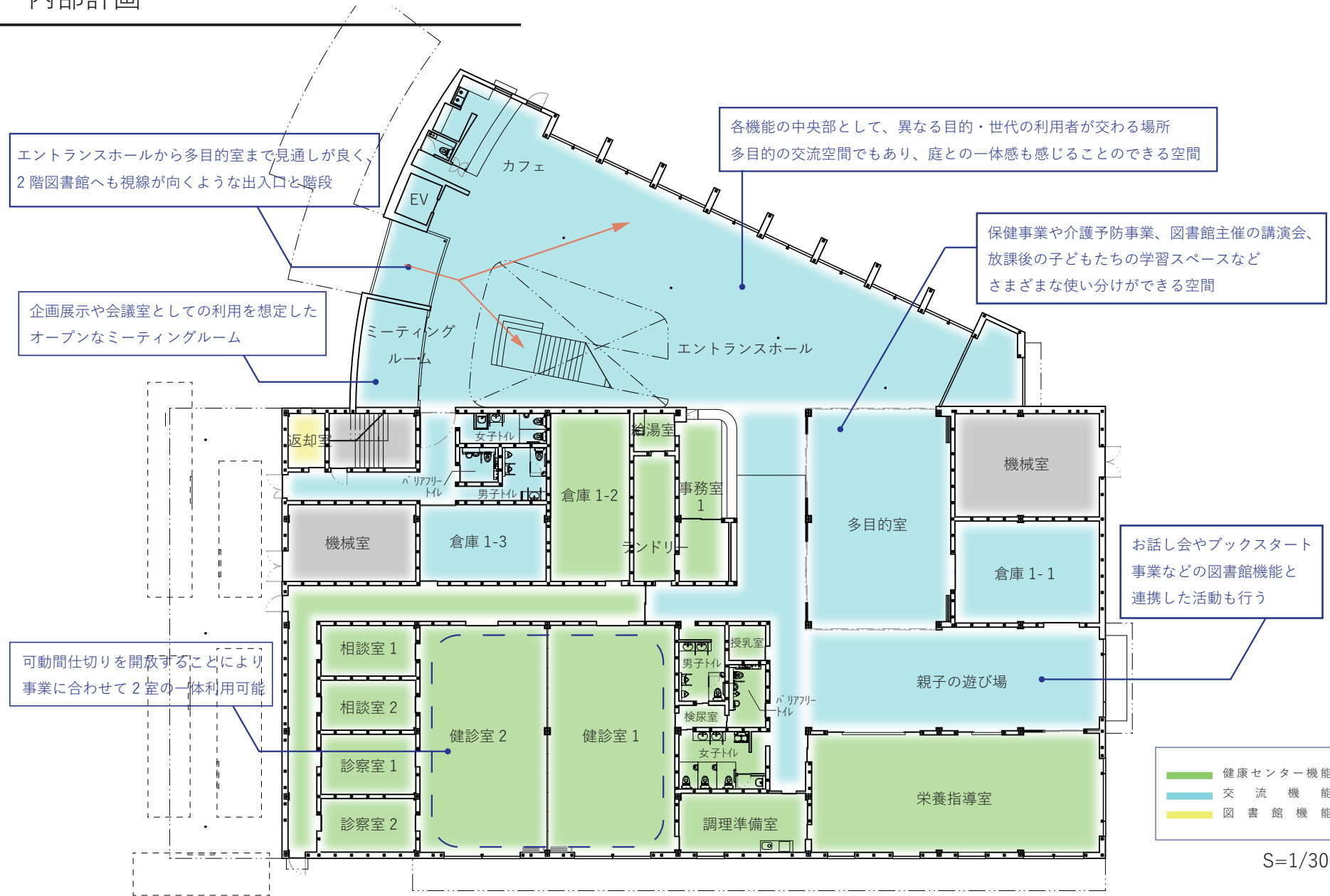
立地・周辺環境

長与町は、長崎市や時津町と生活圈を共有しており、通勤・通学、買い物などによる往来の多い町です。本施設の建設予定地である北陽台団地は長与中央地区に位置し、町内外の移動が多く、人々が訪れる長与町の中心地域です。建設予定地周辺には、公共施設として長与町役場、長与町公民館、長与町老人福祉センター「丸田荘」、教育・保育施設としては徒歩圏内に長崎県立長崎北陽台高等学校、長与中学校、長与小学校ほか保育園や学童保育が位置しており、多くの児童・生徒の来館も予想されます。また、大型商業施設としてイオンタウン長与も近隣に立地しており、建設予定地周辺の施設の日常の利用者も多くなっています。

敷地周辺と新たな「みち」でつなぐことで、施設自体が「交差点」となってまちに新しい流れができ、エリア全体が大きな広場（公共空間）となるでしょう。



内部計画



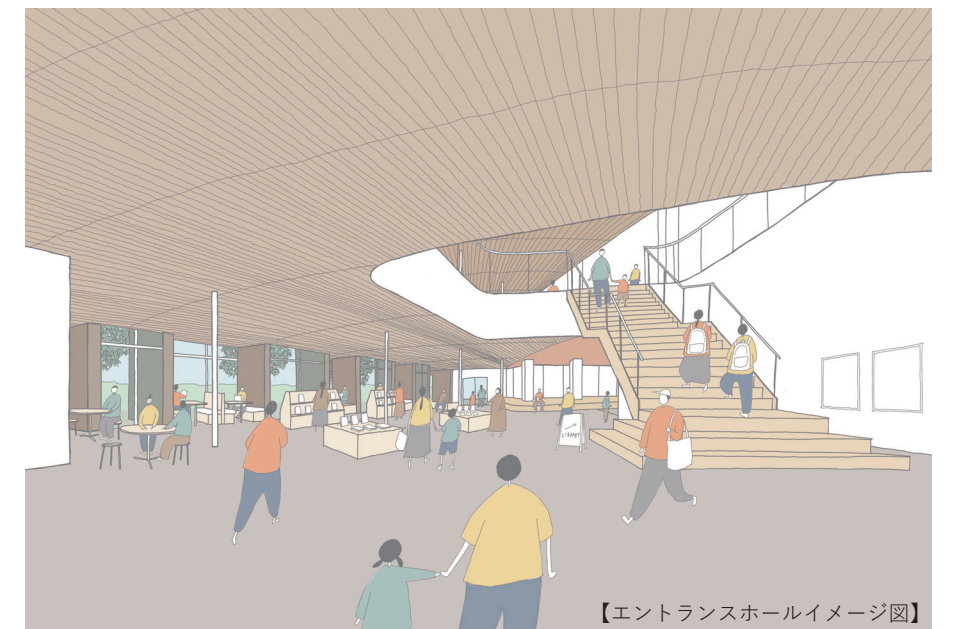
— 1階 — 交流機能・健康センター機能

交流機能

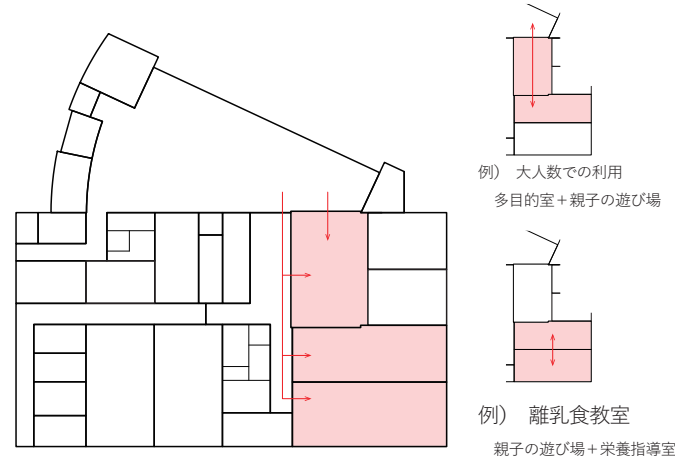
健康センターと図書館の機能の間に位置し、多目的で本施設を訪れた利用者が、異なる世代や目的に出会う場であり、ごろごろ芝生広場やデッキなどから室内までシームレスにつながる施設や町の交差点となる空間を計画します。

健康センター

事業内容に合わせて諸室を配置し利用者が安心して利用できるように配慮し、また、多目的室、親子の遊び場を交流の場として活用することで、健康づくりを身近に感じることができるよう計画します。

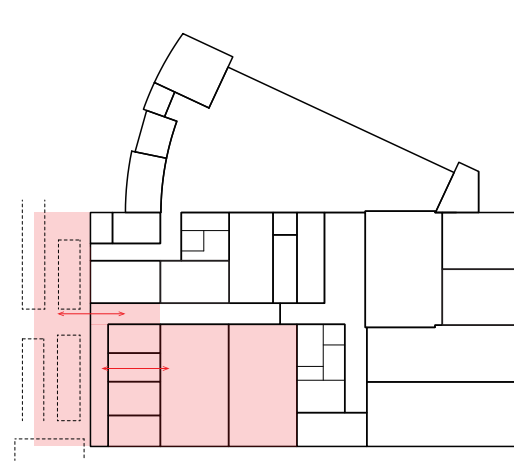


■諸室の重ね使い



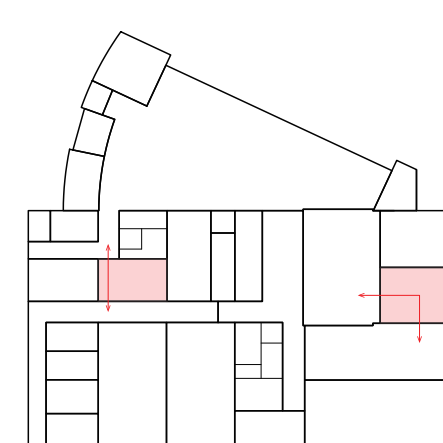
・一室での利用以外に事業内容に合わせて一体利用が可能な配置

■健診室まわりの配置



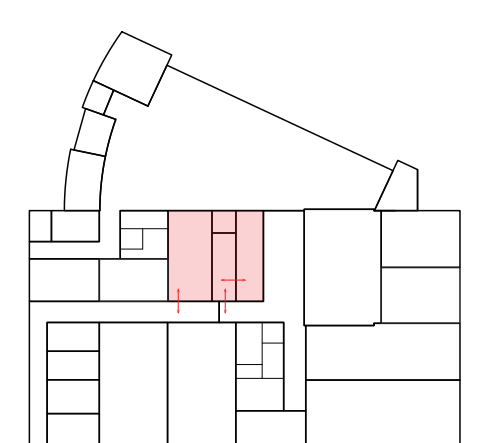
・利用者のプライバシーを確保した居室の配置
・検診パスの上部には庇をかけ雨天時でのスムーズな移動が可能 →保健事業の円滑化と充実化

■倉庫の配置

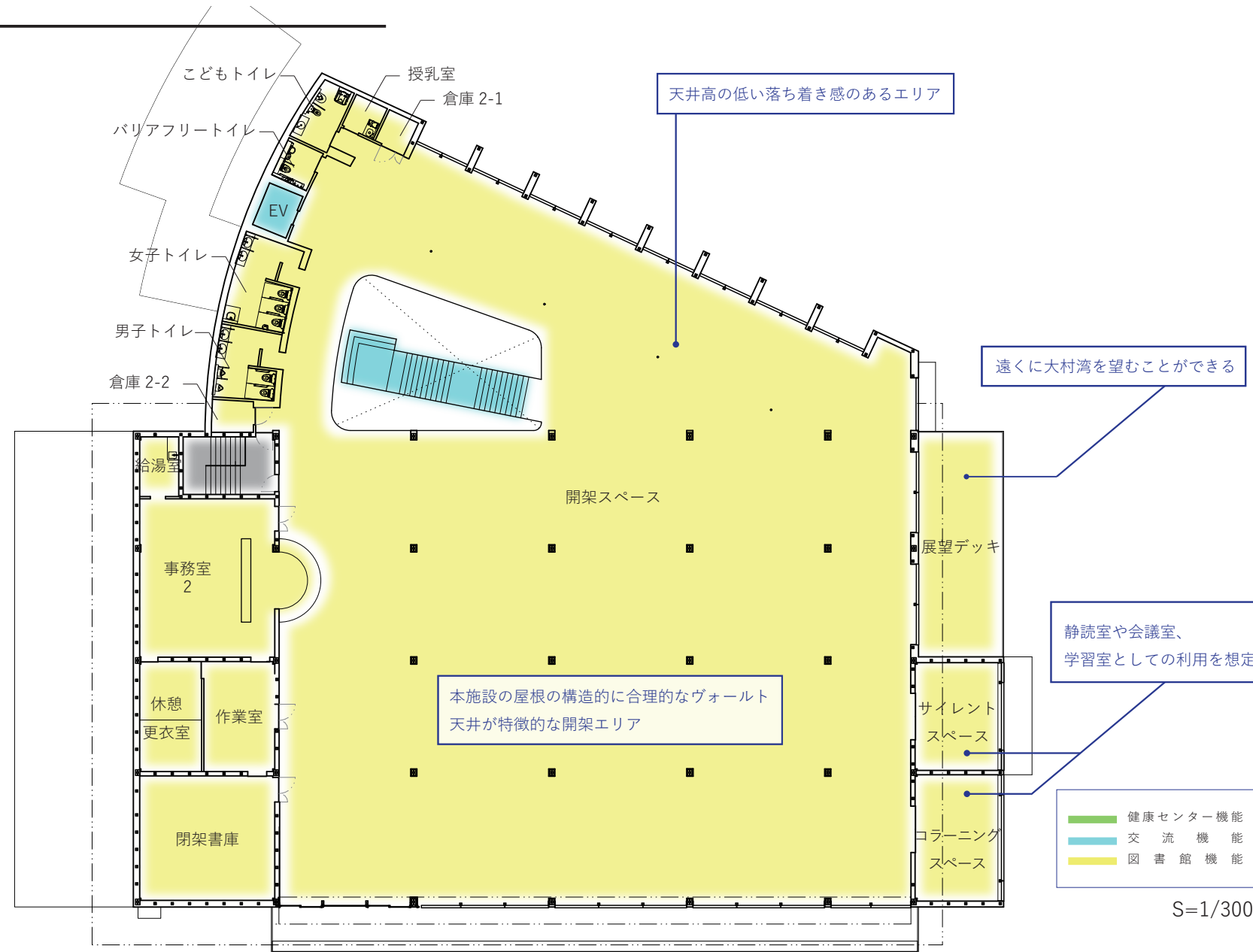


・隣接する各室から使うことのできる倉庫を分散して配置

■運営の効率化



・管理および事務作業エリアを中央に集約し、働きやすい環境を整備



— 2階 — 図書館

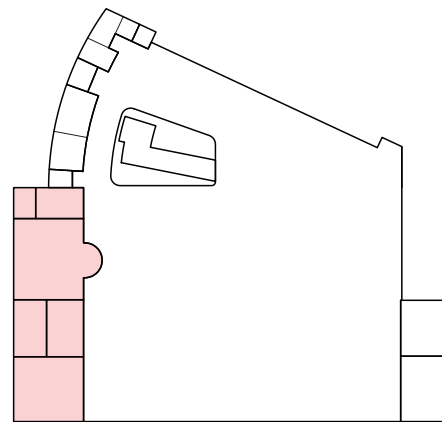
蔵書数 (想定)

開架図書	約 80,000 冊
閉架図書	約 30,000 冊
合計	約 110,000 冊

図書の貸し出しや、読書・調査だけでなく、多様化する利用者のニーズに応え、日常の居場所として長時間滞在を可能にする、居心地の良い空間を計画します。

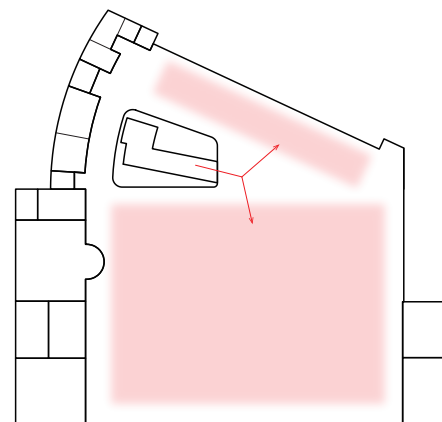


■ 運営の効率化



・管理および事務作業エリアを集約し、事務作業と蔵書整理の作業を効率化

■ エリア分け



・音のあるエリアと静かなエリアを分け、音問題に配慮

— 設備概要 —

・ 電気設備概要

- 受変電設備 : 屋外キュービクル型
- 電灯設備 : 全館 LED 照明、人感センサー一部使用
- 通信情報設備 : 構内通信設備、電話交換配管、情報通信配管、拡声設備、テレビ共同受信設備
- 防災設備 : 誘導支援設備、機械警備配管、自動火災報知機
- その他 : 太陽光発電設備

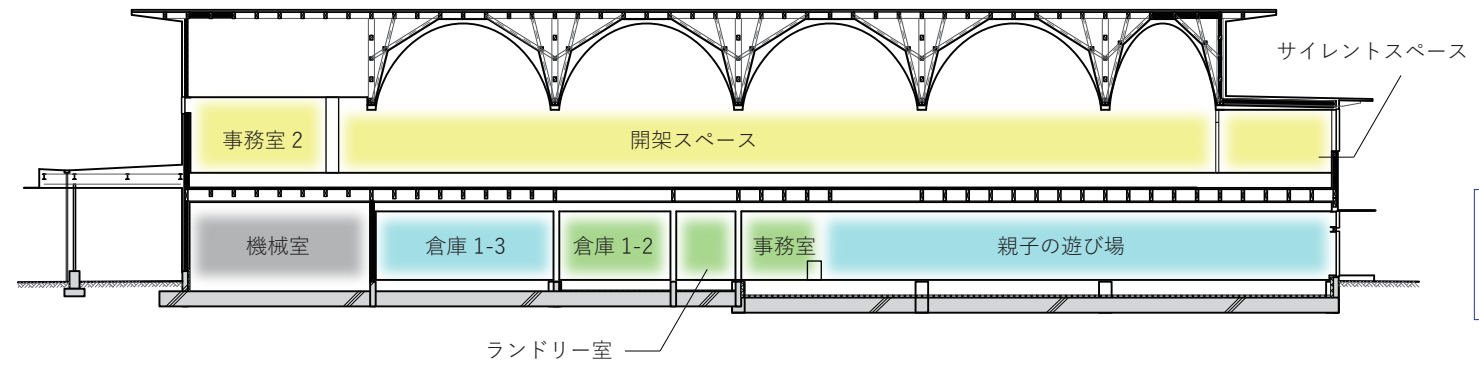
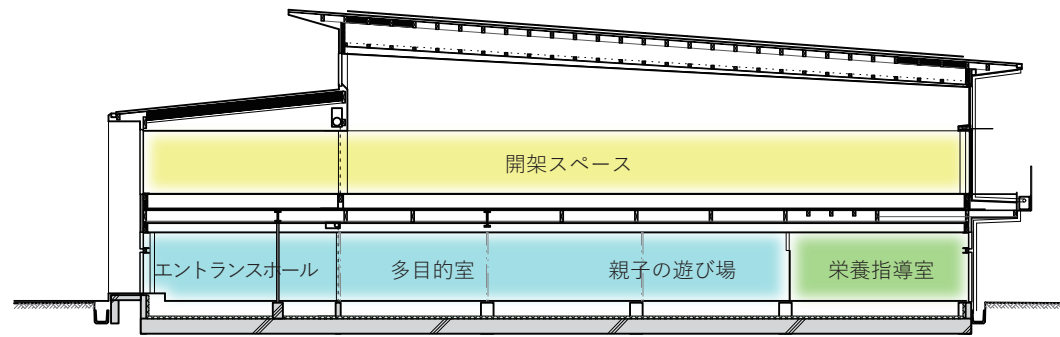
・ 給排水衛生設備概要

- 衛生器具設備 : 節水器具、非接触型自動水栓
- 給水設備 : 直結直圧方式、ポリエチレン管
- 給湯設備 : 電気温水器、ステンレス配管
- 排水設備 : 建物内汚水雑排水分流、外部排水柵で合流
- 消火設備 : 屋内消火栓、消火器

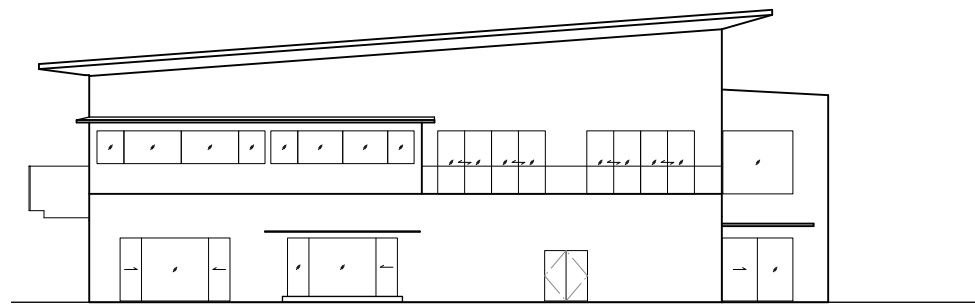
・ 空調設備概要

- 空調設備 : 電気式空冷ヒートポンプエアコン
- 換気設備 : 全熱交換器

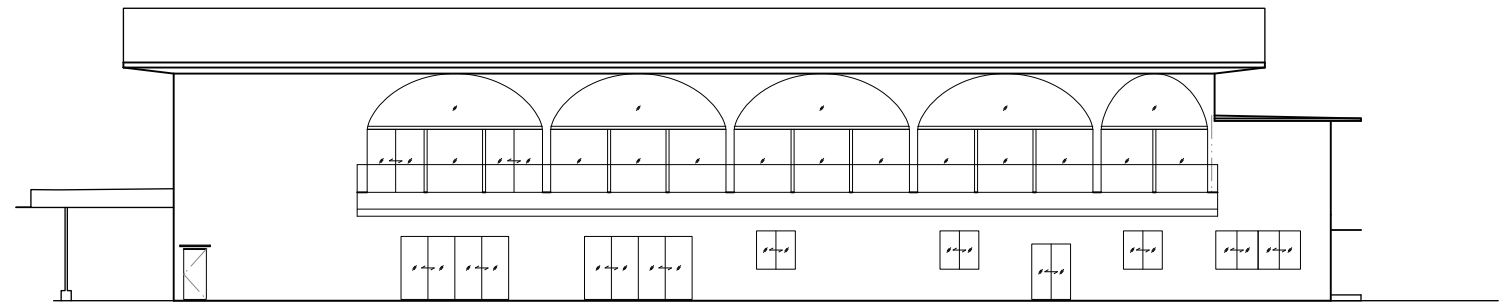
断面計画



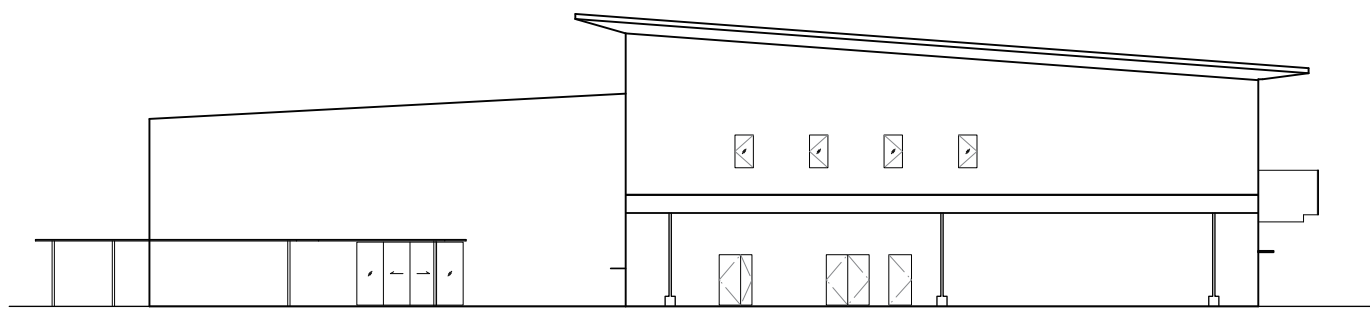
立面計画



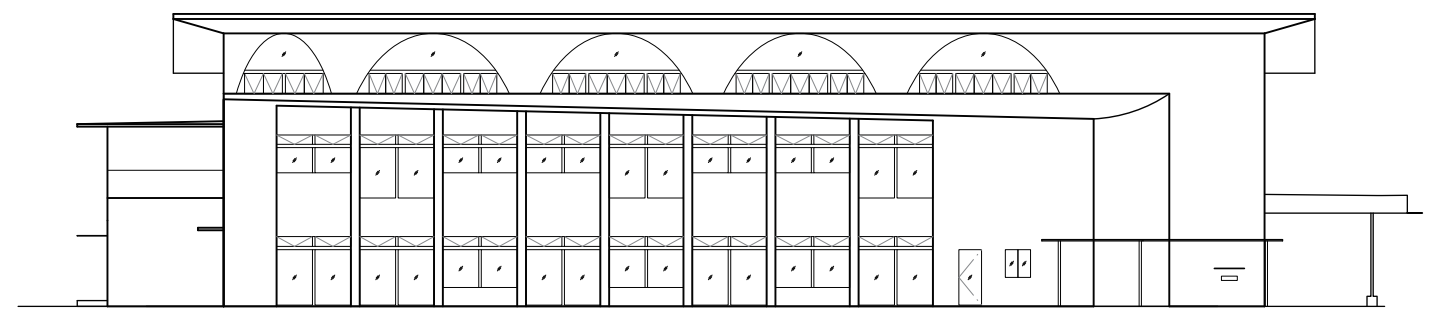
北東立面図



南東立面図



南西立面図

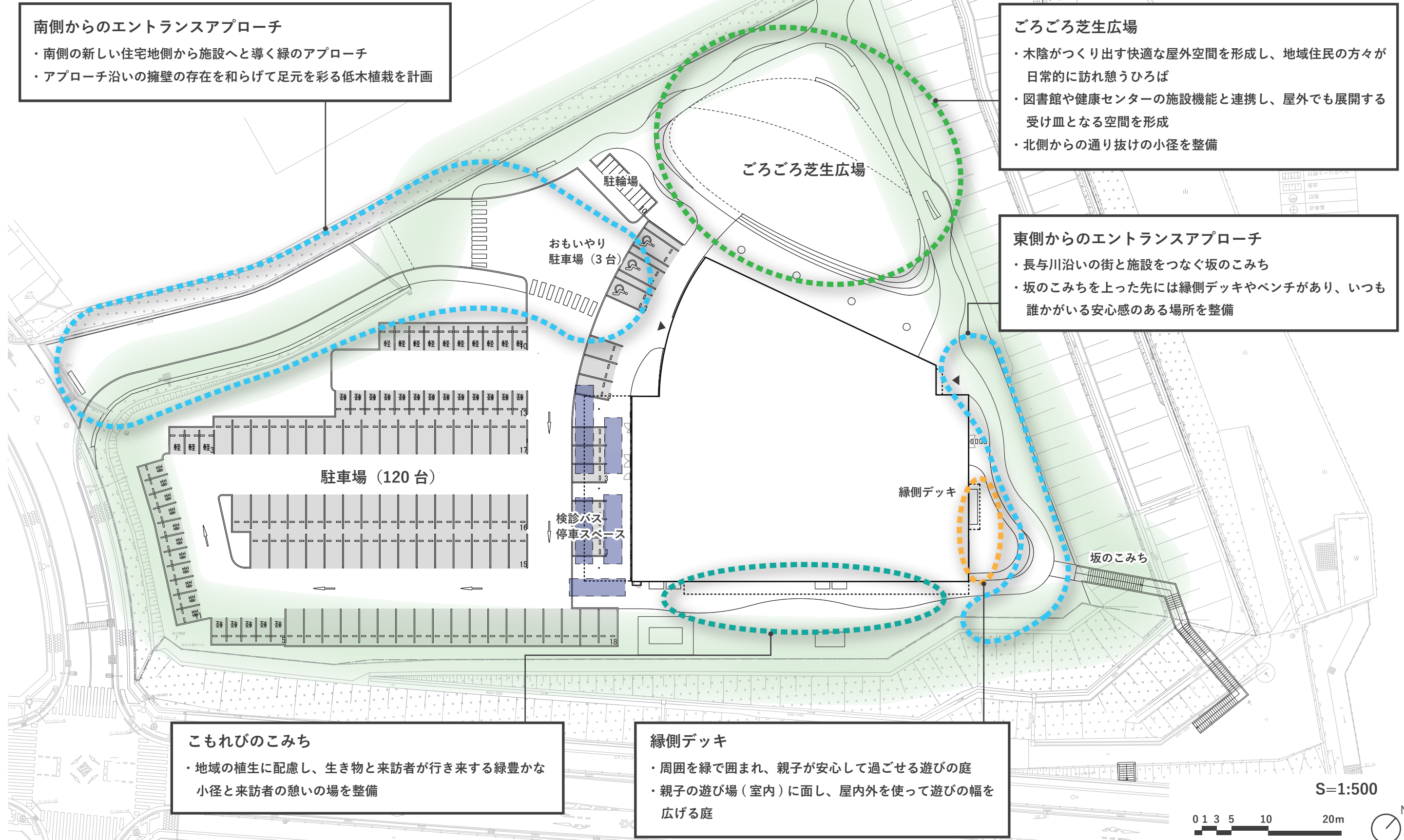


北西立面図

S=1/300

1. 全体計画の考え方

計画地全体を植栽で包み込み、かつての森の姿を想起させる緑を目指します。



3. ごろごろ芝生広場 計画案

思い思いに過ごすことができる大きな芝生ひろば

